

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果

県では、“どのような洪水にあっても人命が失われることを避ける”ことや“生活再建が困難となる被害を避ける”ことを目的に、流域治水対策として河川整備や維持管理などの「ながす」対策をはじめ、水害に「そなえる」対策、被害を最小限に「とどめる」対策を県民の皆さんと協働で取り組んでいます。

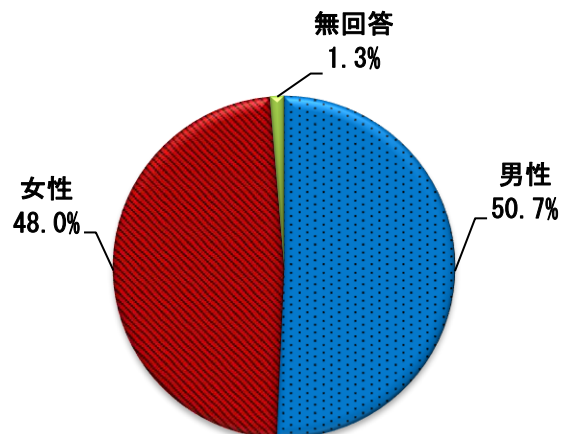
県民のみなさんの豪雨災害に関する認知度を把握し、今後の施策検討の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

- ★ 調査時期：令和7年2月
- ★ 対象者：県政モニター 299人
- ★ 回答数：229人（回答率76.6%）
- ★ 担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室

（※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。）

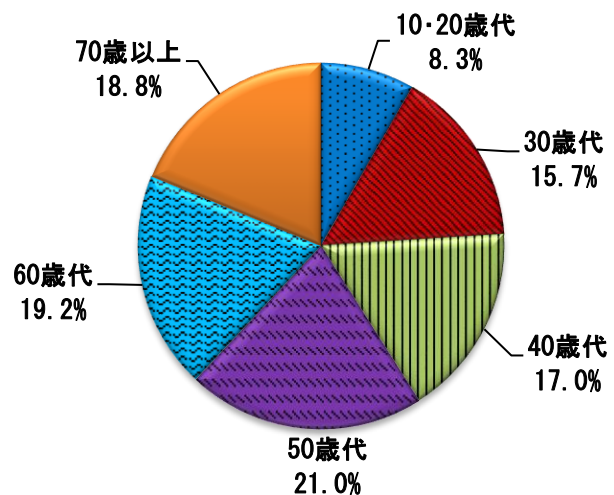
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	116	50.7
女性	110	48.0
無回答	3	1.3
合計	229	100.0



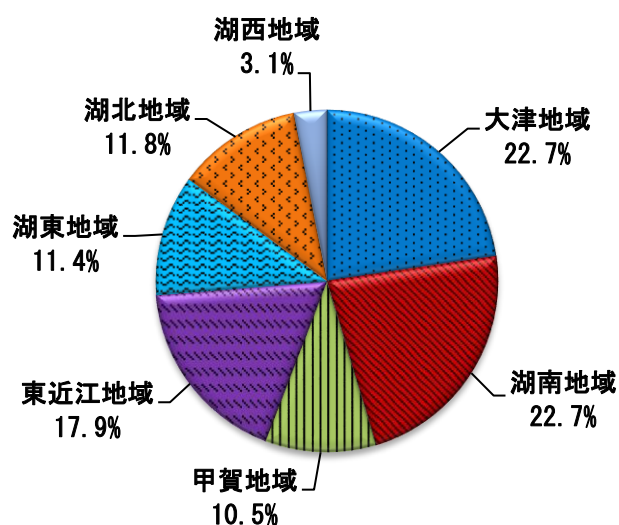
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	19	8.3
30歳代	36	15.7
40歳代	39	17.0
50歳代	48	21.0
60歳代	44	19.2
70歳以上	43	18.8
合計	229	100.0



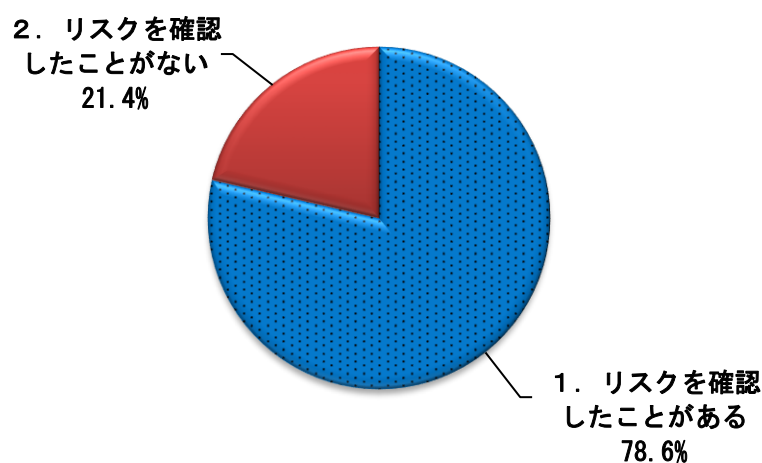
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	52	22.7
湖南地域	52	22.7
甲賀地域	24	10.5
東近江地域	41	17.9
湖東地域	26	11.4
湖北地域	27	11.8
湖西地域	7	3.1
合計	229	100.0



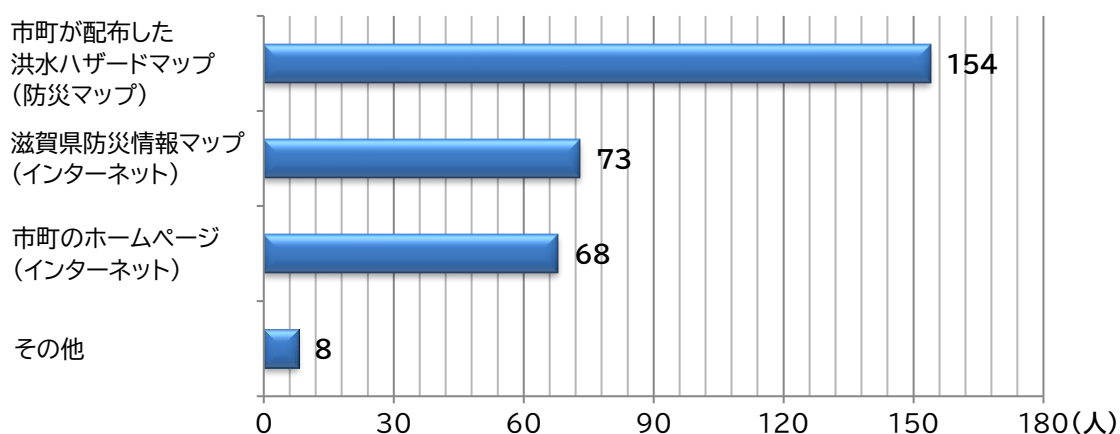
問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたは自宅のリスクを確認したことがありますか。(n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
1. リスクを確認したことがある	180	78.6
2. リスクを確認したことがない	49	21.4
合計	229	100.0



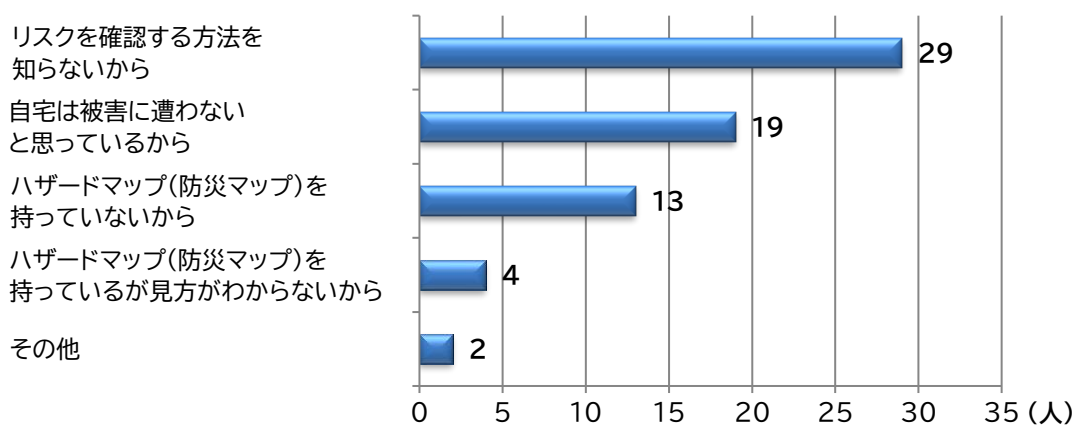
問2 問1で「1. リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きします。それはどのような方法で確認しましたか。(回答チェックはいくつでも n=180)

項目	人数(人)	割合(%)
市町が配布した洪水ハザードマップ(防災マップ)	154	85.6
滋賀県防災情報マップ(インターネット)	73	40.6
市町のホームページ(インターネット)	68	37.8
その他	8	4.4



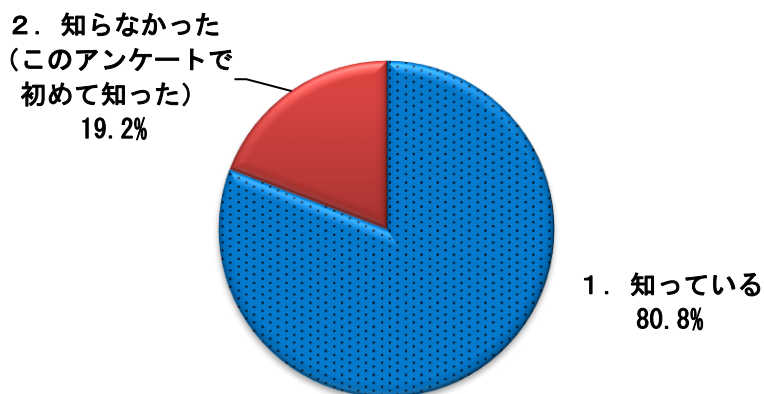
問3 問1で「2. リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きします。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=49)

項目	人数(人)	割合(%)
リスクを確認する方法を知らないから	29	59.2
自宅は被害に遭わないと思っているから	19	38.8
ハザードマップ(防災マップ)を持っていないから	13	26.5
ハザードマップ(防災マップ)を持っているが見方がわからないから	4	8.2
その他	2	4.1



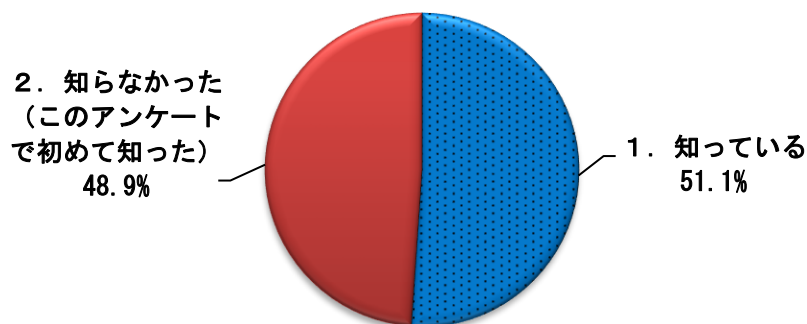
問4 浸水する原因として、大きな河川の氾濫による浸水(外水氾濫)以外に、用排水路や小さな河川の氾濫により浸水(内水氾濫)する場合がありますか。
(n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	185	80.8
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	44	19.2
合計	229	100.0



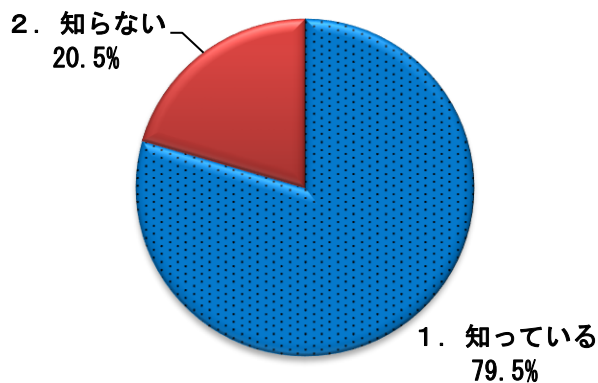
問5 滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。(n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	117	51.1
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	112	48.9
合計	229	100.0



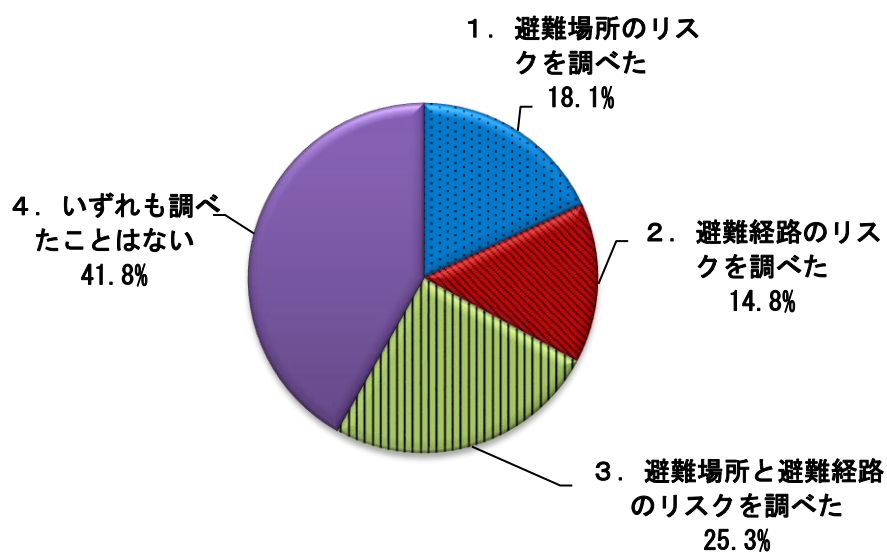
問6 あなたは、豪雨災害が発生した場合に市町が指定する避難場所を知っていますか。
(n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	182	79.5
2. 知らない	47	20.5
合計	229	100.0



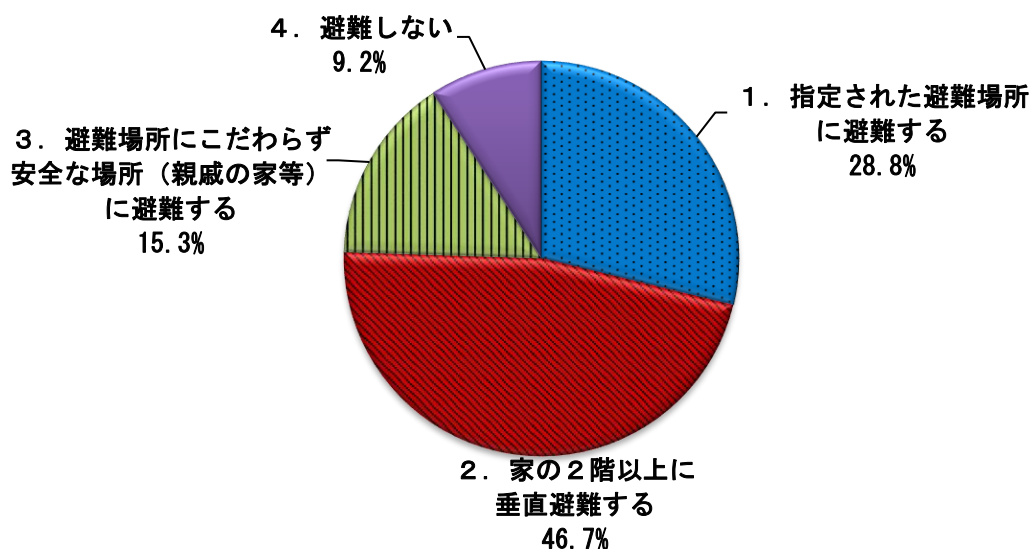
問7 問6で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。避難場所や避難場所へ行く経路のリスクを調べたことがありますか。(n=182)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 避難場所のリスクを調べた	33	18.1
2. 避難経路のリスクを調べた	27	14.8
3. 避難場所と避難経路のリスクを調べた	46	25.3
4. いずれも調べたことはない	76	41.8
合計	182	100.0



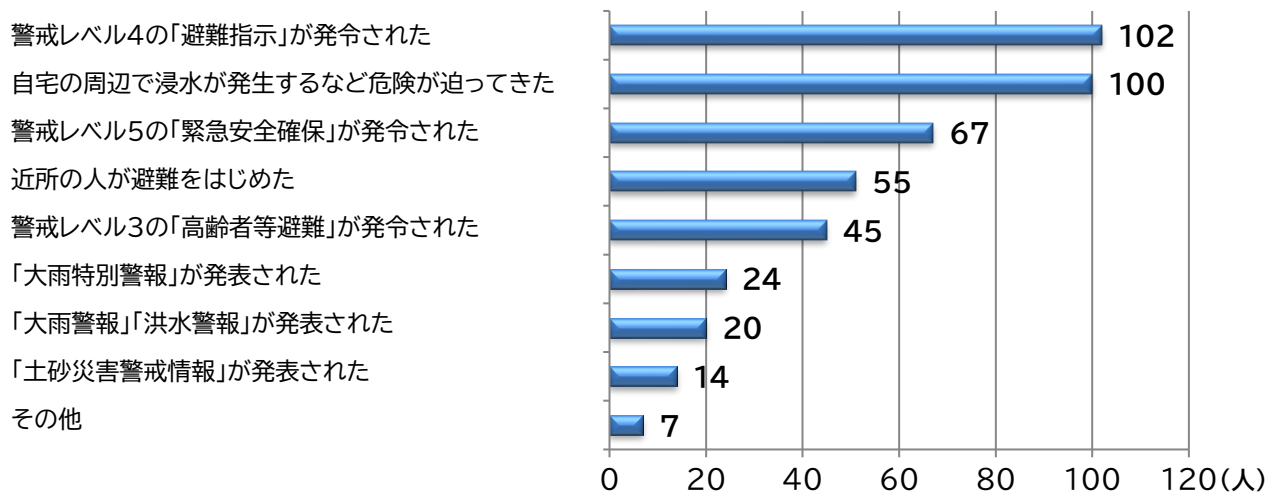
問8 自宅にいる時に周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、あなたはどのような行動をとると思いますか。この中から、あなたの考えに最も近いものを選んでください。※垂直避難・・・自宅の2階以上など、その場から別の場所へ移動せず、より高い場所(垂直方向)へ避難すること(n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 指定された避難場所に避難する	66	28.8
2. 自宅の2階以上に垂直避難する	107	46.7
3. 避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する	35	15.3
4. 避難しない	21	9.2
合計	229	100.0



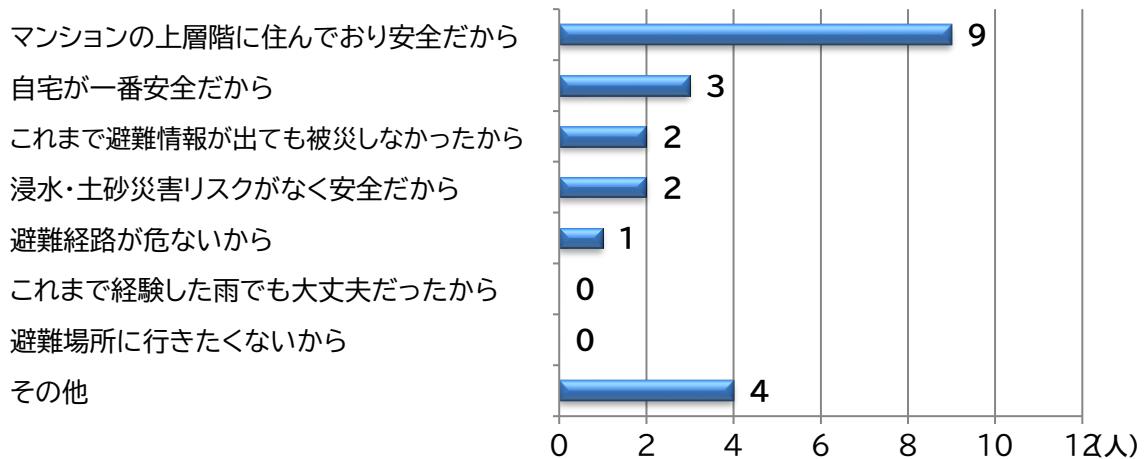
問9 問8で「1.指定された避難場所に避難する」「2. 自宅の2階以上に垂直避難する」「3. 避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに近いものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=208)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 警戒レベル3の「高齢者等避難」が発令された	45	21.6
2. 警戒レベル4の「避難指示」が発令された	102	49.0
3. 警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令された	67	32.2
4. 「大雨警報」「洪水警報」が発表された (警戒レベル3相当情報)	20	9.6
5. 「土砂災害警戒情報」が発表された (警戒レベル4相当情報)	14	6.7
6. 「大雨特別警報」が発表された (警戒レベル5相当情報)	24	11.5
7. 自宅の周辺で浸水が発生するなど危険が迫ってきた	100	48.1
8. 近所の人が始めた	55	26.4
9. その他	7	3.4



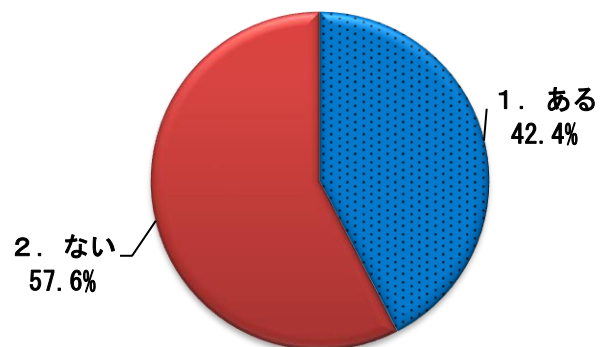
問 10 問8で「4. 避難しない」と回答された方にお聞きします。避難しない理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(回答チェックは 1 つだけ n=21)

項 目	人数(人)	割合(%)
マンションの上層階に住んでおり安全だから	9	42.9
自宅が一番安全だから	3	14.3
これまで避難情報が出ても被災しなかったから	2	9.5
浸水・土砂災害リスクがなく安全だから	2	9.5
避難経路が危ないから	1	4.8
これまで経験した雨でも大丈夫だったから	0	0
避難場所に行きたくないから	0	0
その他	4	19.0



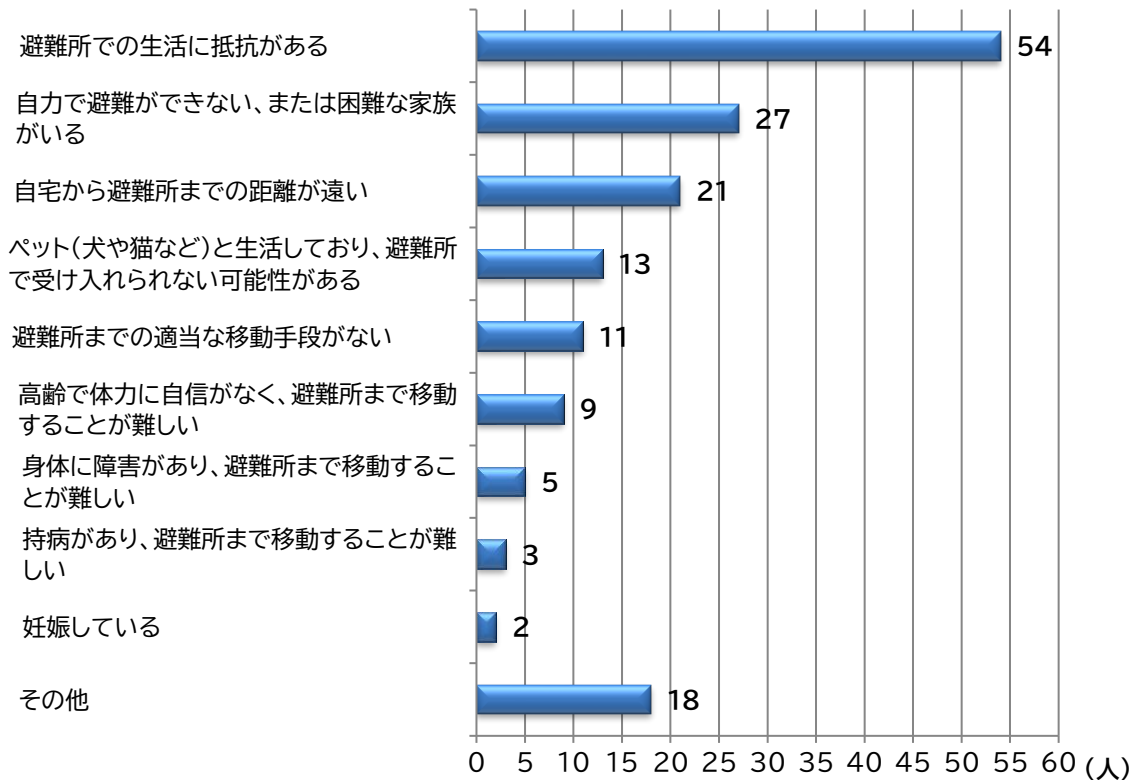
問 11 自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。※水平避難・・・自宅から移動し、指定避難所や親戚宅等に移動(水平方向)して避難すること (n=229)

項 目	人数(人)	割合(%)
1. ある	97	42.4
2. ない	132	57.6
合 計	229	100.0



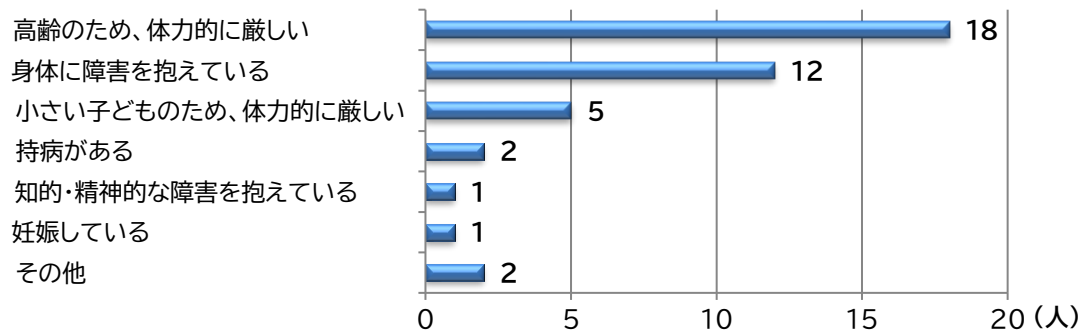
問 12 問 11 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=97)

項目	人数(人)	割合(%)
避難所での生活に抵抗がある	54	55.7
自力で避難ができない、または困難な家族がいる	27	27.8
自宅から避難所までの距離が遠い	21	21.6
ペット(犬や猫など)と生活しており、避難所で受け入れられない可能性がある	13	13.4
避難所までの適当な移動手段がない	11	11.3
高齢で体力に自信がなく、避難所まで移動することが難しい	9	9.3
身体に障害があり、避難所まで移動することが難しい	5	5.2
持病があり、避難所まで移動することが難しい	3	3.1
妊娠している	2	2.1
その他	18	18.6



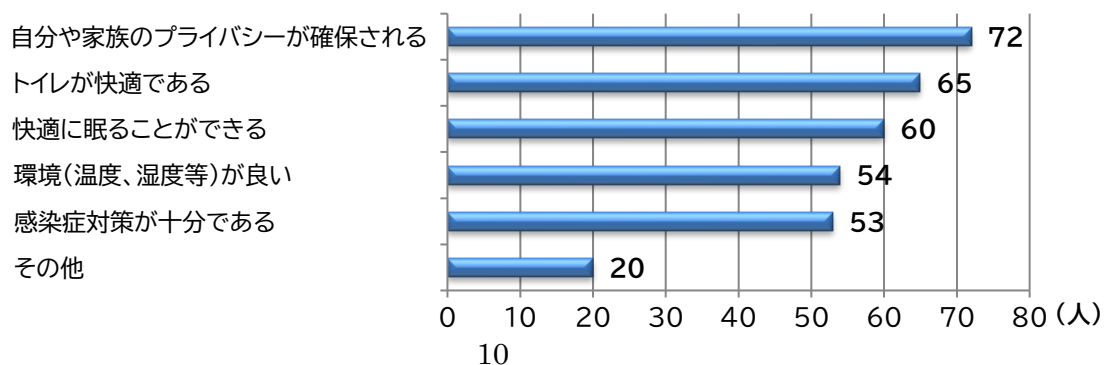
問 13 問 12 で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きします。その方はどのような事情を抱えておられますか。(回答チェックはいくつでも n=27)

項目	人数(人)	割合(%)
高齢のため、体力的に厳しい	18	66.7
身体に障害を抱えている	12	44.4
小さい子どものため、体力的に厳しい	5	18.5
持病がある	2	7.4
知的・精神的な障害を抱えている	1	3.7
妊娠している	1	3.7
その他	2	7.4



問 14 問 11 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。避難所にどのようなことを求めますか。(回答チェックはいくつでも n=97)

項目	人数(人)	割合(%)
自分や家族のプライバシーが確保される	72	74.2
トイレが快適である	65	67.0
快適に眠ることができる	60	61.9
環境(温度、湿度等)が良い	54	55.7
感染症対策が十分である	53	54.6
その他	20	20.6



問 15 「滋賀県防災情報マップ」で、自宅の浸水リスク・土砂災害リスクをお調べいただき、ご回答をお願いします。自宅の浸水リスク(「地先の安全度マップ」で最大浸水深図 1/200 年確率時)、土砂災害リスクはどれに該当しますか。

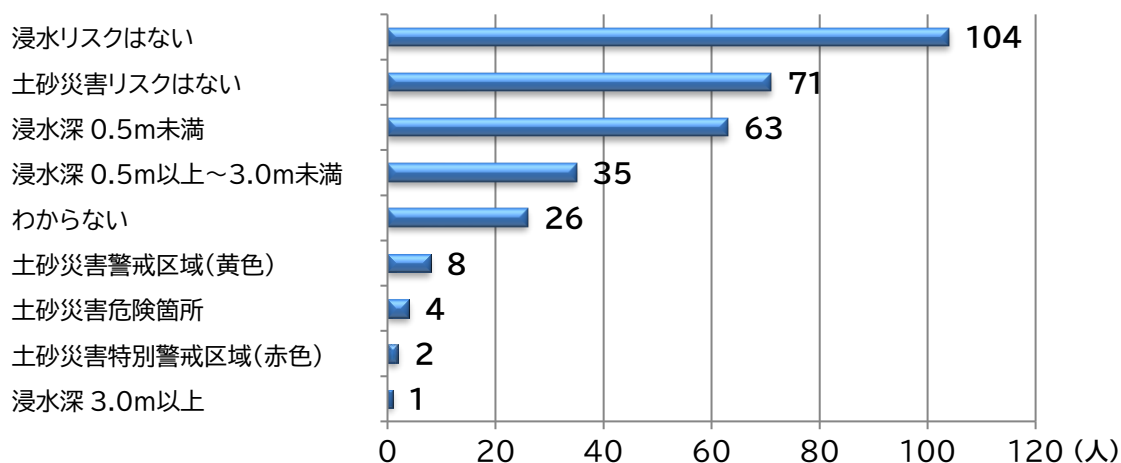
【滋賀県防災情報マップ URL】

<https://shiga->

[bousai.jp/dmap/map/index?l=M_r_k_d_risk_map&z=&lon=&lat=](https://shiga-bousai.jp/dmap/map/index?l=M_r_k_d_risk_map&z=&lon=&lat=)

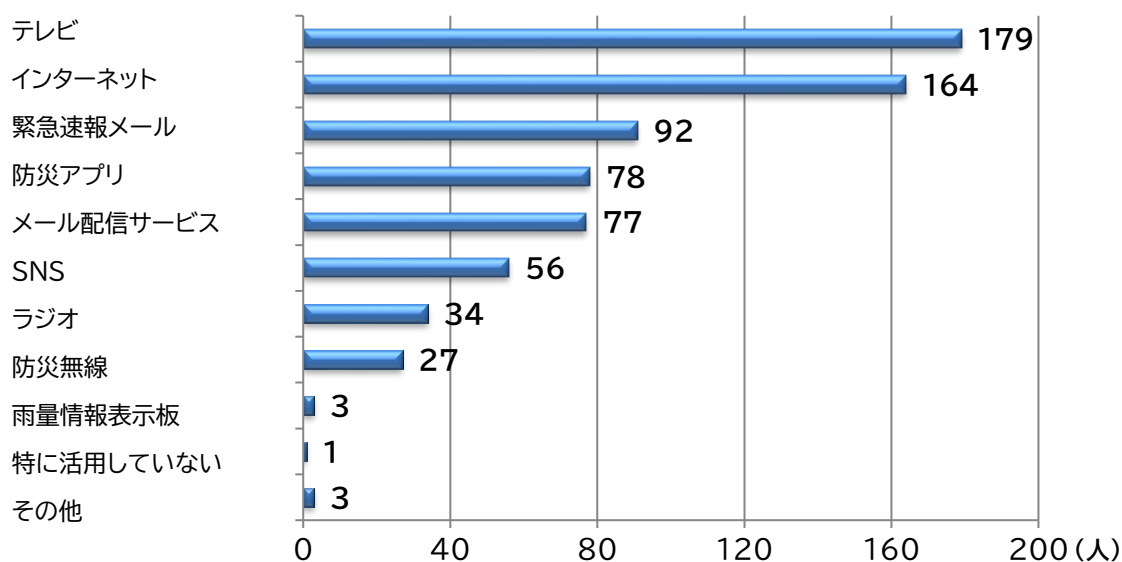
(回答チェックは3つまで n=229)

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 浸水リスクはない	104	45.4
2. 浸水リスクは浸水深 0.5m未満である(床下浸水)	63	27.5
3. 浸水リスクは浸水深 0.5m以上～3.0m未満である(床上浸水)	35	15.3
4. 浸水リスクは浸水深 3.0m以上である(2階浸水)	1	0.4
5. 土砂災害リスクはない	71	31.0
6. 土砂災害警戒区域(黄色)に該当する	8	3.5
7. 土砂災害特別警戒区域(赤色)に該当する	2	0.9
8. 土砂災害危険箇所に該当する	4	1.7
9. わからない	26	11.4



問 16 豪雨災害時の情報取得手段として、あなたがよく活用しているものを選んでください。(「特に活用していない」を選択した方以外回答チェックはいくつでも n=229)

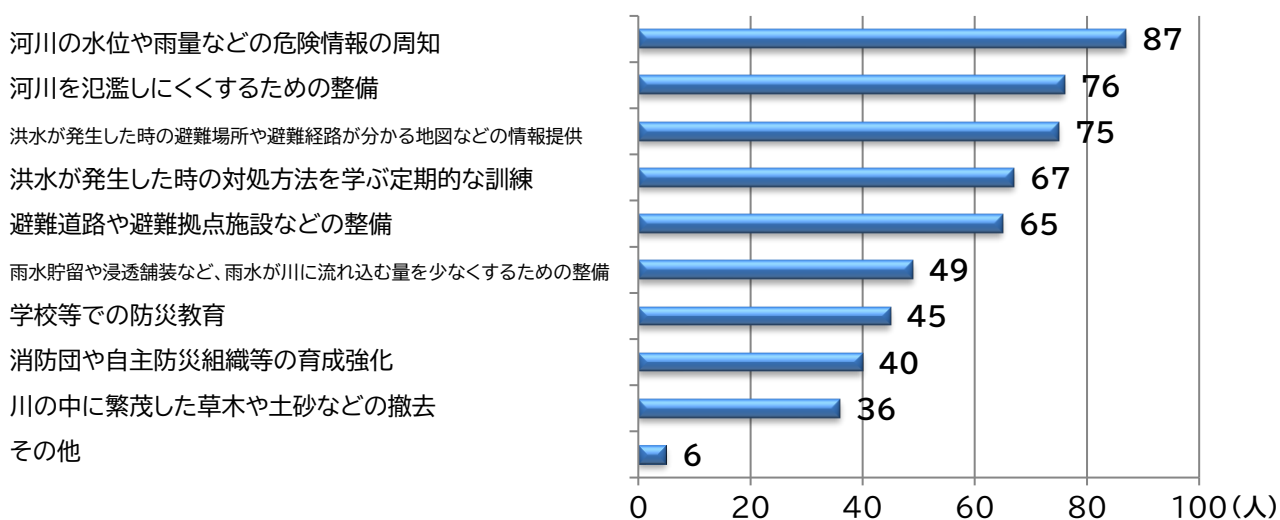
項目	人数(人)	割合(%)
テレビ	179	78.2
インターネット(ウェブサイトの閲覧)	164	71.6
緊急速報メール (対象エリアの携帯電話に対して情報を知らせるサービス)	92	40.2
防災アプリ (市町や NHK、ヤフー等が提供するアプリ)	78	34.1
メール配信サービス (しらがメール、市町のメール配信サービス)	77	33.6
SNS(X(旧 Twitter)、フェイスブック等)	56	24.5
ラジオ	34	14.8
防災無線	27	11.8
道路沿いなどにある雨量情報表示板	3	1.3
特に活用していない	1	0.4
その他	3	1.3



問 17 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。

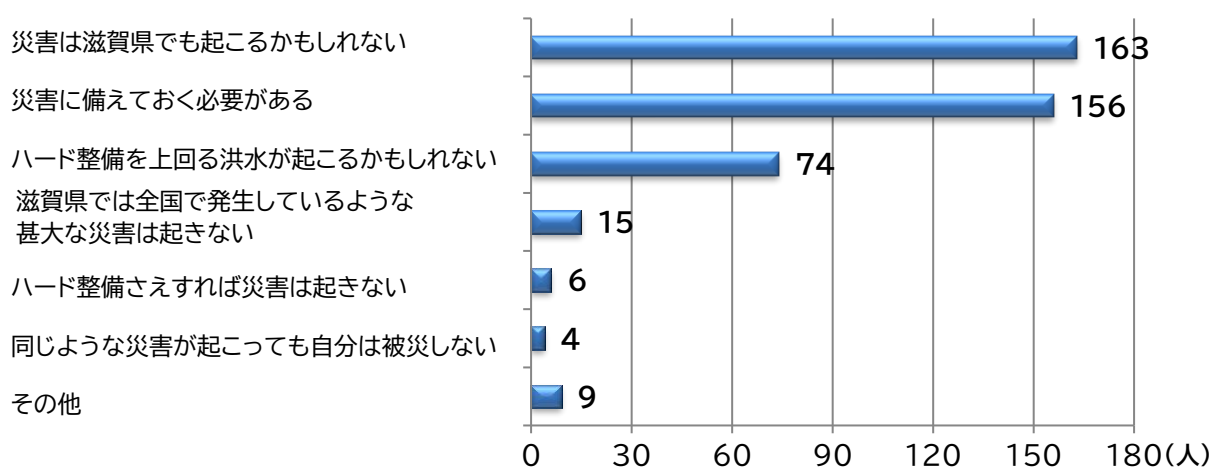
(回答チェックは3つまで n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
河川の水位や雨量などの危険情報の周知	87	38.0
河川を氾濫しにくくするための整備	76	33.2
洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	75	32.8
洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	67	29.3
避難道路や避難拠点施設などの整備	65	28.4
雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	49	21.4
学校等での防災教育	45	19.7
消防団や自主防災組織等の育成強化	40	17.5
川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	36	15.7
その他	6	2.6



問 18 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生しており、甚大な被害が生じています。これらの災害から感じることにあなたの考えに近いものを選んでください。
 (回答チェックはいくつでも n=229)

項目	人数(人)	割合(%)
災害は滋賀県でも起こるかもしれない	163	71.2
災害に備えておく必要がある	156	68.1
ハード整備を上回る洪水が起こるかもしれない	74	32.3
滋賀県では全国で発生しているような甚大な災害は起きない	15	6.6
ハード整備さえすれば災害は起きない	6	2.6
同じような災害が起こっても自分は被災しない	4	1.7
その他	9	3.9



問 19 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。ご意見がありましたら記入してください。(抜粋)

【個人で留意すること】

- 日頃から、近所の家族と仲良くしておく。
- 家族で避難場所など、ルールを決めておく。
- 日々の備えをする。国や行政などの公助に頼る姿勢ではなく、もしもの時は自助も必要なことを大人が再認識する(子どもは学校教育で学び続ける。)。危機感が個人レベルで違うので一人一人が自分事としてとらえる意識付けをする。
- 雨の多い時に、今いる場所から目的地(自宅や職場等)までどのルートで移動すれば安全かを判断できるように、自宅の場所だけでなく広い範囲でハザードマップを頭に入れておくと良い。
- 普段から防災に関心を持ち、自分で命を守る方法を考えておく。防災時袋等を作っておく。
- 水害のことも考えると、備蓄は2階にも必要かもと思うようになった。
- 災害の知識を蓄え、自分である程度の対応をできるようになる。
- 複数の避難経路・避難所を把握しておく。
- 溝、水路を掃除したり、日頃から家の回りを観察したりする。

【地域で留意すること】

- 地域で避難しにくい人を把握して協力できる体制を作る。
- いざというときには支援ができる地域のつながりを日頃から培う。
- 自主防災会組織が活動できるようにしておくことが重要。
- 万が一の時に備えて、自治会等での連絡網や、緊急時の連絡体制を把握しておくことが必要。
- 自治会や町内会が定期的に防災訓練や消防訓練を実施し、住民が実際の災害時に適切な行動を取れるようにするなど。消火器の使い方や避難経路の確認、初期対応の方法を学ぶ機会が欲しい。こういった活動を通してご近所づきあいを強化し、日頃から住民同士が顔の見える関係を築くことも大事。

【その他】

- 住んでいる地域で災害が起こった時にどんな対応が必要なのか、専門家の人と一緒に考える機会があると良い。
- 地震、水害などの自然災害が身近になってきているように感じる。情報弱者(災害弱者)が取り残されないように各種情報を電子情報だけでなく、紙媒体で周知いただきたい。
- 市町から土のうが支給される場合があることを周知すると良い。

- 避難場所、避難経路の周知を徹底することが重要。誰でもすぐに避難場所を調べられるようにしてほしい。
- 学校でも、子供達に、災害が起きた時の対処をしっかりと教えてほしい。
- 住んでいる所の防災マップを皆が見る事が大事だと思う。県でも、各市町のホームページから自宅の住所を入力すれば、その危険度が解る様なものを作って欲しい。
- 行政には、ハザードマップをしっかりと理解すること、と今まで経験したことが無いことがいつ起こっても不思議でないことを認識すべきことを、県民に繰り返し警告して欲しい。また、地域防災力を強化する手順と平時の防災訓練のやり方を地域に示し指導して欲しい。